

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公開番号】特開 2021-69718 (P2021-69718A)

【公開日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【年通号数】公開・登録公報 2021-021

【出願番号】特願 2019-198554 (P2019-198554)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

A 6 3 F 7/02 3 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 24 日 (2021.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が転動可能な転動領域が形成された透明な板部と、
 該板部に植設された障害釘と、
 光を乱反射する乱反射部と、
 を備えた遊技機において、
 前記板部に植設された前記障害釘の周囲に生じる白化部の後方に、前記乱反射部が位置し、
 前記乱反射部は、
 前記白化部と前後方向で重なるように位置し、透光性を有する素材からなり、
 前記白化部と前後方向で重なるように位置する前記乱反射部の後方には、表面が白色の基板が位置し、
 前記白化部と前記乱反射部は、前記遊技機の前側から同時に視認できるものであり、
 さらに、前記乱反射部を介して前記基板の表面の白色が視認でき、
 前記乱反射部は、前記板部に植設された複数の前記障害釘の後方で、少なくとも 2 本以上の該障害釘をまたぐようにして設けられており、
 前記板部には、前記遊技球が入球すると遊技者に特典を付与する入賞口が設けられ、
 前記乱反射部および前記基板は、前記入賞口へ前記遊技球を誘導しうる障害釘が植設された前記転動領域の少なくとも一部の領域の後方に設けられている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

遊技球が転動可能な転動領域が形成された透明な板部と、
 該板部に植設された障害釘と、

光を乱反射する乱反射部と、
を備えた遊技機において、

前記板部に植設された前記障害釘の周囲に生じる白化部の後方に、前記乱反射部が位置し、

前記乱反射部は、

前記白化部と前後方向で重なるように位置し、透光性を有する素材からなり、

前記白化部と前後方向で重なるように位置する前記乱反射部の後方には、表面が白色の基板が位置し、

前記白化部と前記乱反射部は、前記遊技機の前側から同時に視認できるものであり、

さらに、前記乱反射部を介して前記基板の表面の白色が視認でき、

前記乱反射部は、前記板部に植設された複数の前記障害釘の後方で、少なくとも2本以上の該障害釘をまたぐようにして設けられており、

前記板部には、前記遊技球が入球すると遊技者に特典を付与する入賞口が設けられ、

前記乱反射部および前記基板は、前記入賞口へ前記遊技球を誘導しうる障害釘が植設された前記転動領域の少なくとも一部の領域の後方に設けられている

ことを特徴とする。